



# テックス レポート

## 日刊 原料・鉄鋼貿易版

昭和43年1月26日第三種郵便物認可 日刊 土・日・祝祭日休刊

URL: <http://www.texreport.co.jp/>

平成 27 年 ( 2015 年 ) 5 月 18 日 ( 月 ) No. 11582

〔鉄鋼貿易〕	欧米向け今年下期積み方向性電磁鋼板が商談本格化 -----	2
	鞍山鋼鉄、国内向け6月積みホットを据え置く -----	2
	アジアのスラブ価格、下げ止まり横ばいに -----	3
	コベルコ建機とコベルコクレーン、経営統合へ -----	3
	3月の冷延広幅帯鋼輸出推移 -----	15
	3月の厚板輸出推移 -----	15
〔石 炭〕	<b>社告“CD版石炭年鑑2015”を緊急発売</b>	
	<b>社告“Coal Manual 2014”を発売中!</b>	
	<b>社告“石炭年鑑2014年度版”を発売中!</b>	
	KOSEPのスポット入札で豪州炭とネシア炭が落札 -----	13
	アジア・リソース社が株主投票を延期 -----	4
	ウーロンゴン社のシン会長兼CEOが退任 -----	13
	台湾電力、2014年の石炭ソースは68%がネシア -----	5
	伊藤忠エネクスが新石炭火力を予定通り稼働 -----	5
	ギルドフォード社がストーン氏を取締役に -----	3
	豪州一般炭、60.00 ~ 63.00ドルで成約される -----	3
	南ア一般炭、65.25 ~ 65.50ドルで成約される -----	21
	韓国、4月の石炭輸入は1215万トに増加 -----	17
	韓国、4月のソース別原料炭輸入実績 -----	18
	韓国、4月のソース別一般炭輸入実績 -----	19
	韓国、4月のソース別無煙炭輸入実績 -----	17
	韓国、4月の石炭コークス輸入実績 -----	19
	韓国、4月の生石油コークス輸出入実績 -----	20
	台湾、1~3月の石炭輸入は1715万ト -----	21
	台湾、1~3月の石炭コークス輸入実績 -----	20
	台湾、1~3月の生石油コークス輸出実績 -----	20
台湾電力業、3月の石炭消費量は268万ト -----	12	
〔鉄鉱石〕	<b>社告：輸入鉄鉱石年鑑2013-2014年度版を発売中!</b>	
	エッサール・ポート、バイザグ鉄鉱石パースを買収 -----	12
	NML、1-3月の業績・計画進捗状況 -----	15
	< CIOPI > 14日付け輸入鉄鉱石価格59.81ドル -----	11
	豪州の鉄鉱石輸出速報 -----	16
バラ積み不定期船市況は強含み -----	1	
〔冷鉄源〕	韓国向け新規輸出、引き続き先高ムード -----	14
	中部地区、新断ち炉前26,500円超へジリ高 -----	4
	エンピプロ、純利益見通し6.4億円に上方修正 -----	5
	電炉・鉄スクラップに関する主な出来事(2015年4月) -----	9
	米国、第1四半期の冷鉄源輸入は283万ト -----	6
〔合金鉄〕	<b>社告“合金鉄年鑑・2014年版”発売中!</b>	
	<b>社告“Ferro Alloy Manual 2014”を発売中!</b>	
	2015年5月15日の合金鉄輸入市況動向 -----	7
	ロシア、2015年2月のFeSi輸出量は28,584ト -----	14
	15年5月13~14日LME・ニッケル価格 -----	6
15年5月13~14日LMEのモリブデン・コバルト価格 -----	13	
〔社 告〕	<b>“Web閲覧システム”英文版トライアル購読のご案内</b>	
	<b>“ガス年鑑2014年度版”を発売中!</b>	

(禁無断転載・コピー・翻訳)

株式会社 **テックスレポート**  
The TEX Report, Ltd.

本 社：東京都千代田区神田錦町2-9 (大新ビル)  
電 話：03 (3233) 0811 (代表) 〒101-0054  
F A X：03 (3293) 5289  
E-mail：genryou@texreport.co.jp

購読料 (国内向け)  
6ヵ月 61,560円  
1年 118,800円

## バラ積み不定期船市況は強含み

=南ア鉱17万トンを積み中国向け船が8.98ドル

### [ ケープサイズ船 ]

<西豪州 中国>

F M G社は西豪州のポートヘッドランドで鉄鉱石16万トンを船積みする船主パン・オーシャンのT B N(船名未定)を中国の青島向けにト当たり5.35ドル(1日の港湾荷役積みスケールロード/揚げ30,000トン)で決めた。5月23-25日に用船を開始する。

B H Pピリトン社はポートヘッドランドで鉄鉱石17万トンを船積みするA L I K I号(2005年建造)を青島向けにト当たり5.47ドル(同80,000トン/30,000トン)で決めた。5月24-28日に用船を開始する。

<南アフリカ 中国>

アングロ・アメリカン社は南アフリカのサルダナ・ベイで鉄鉱石17万トンを船積するG R E A T・Z H O U号(2010年建造)を青島向けにト当たり8.98ドル(同スケールロード/30,000トン)で決めた。6月5-10日に用船を開始する。同船はバックバルク社からのリレット船。

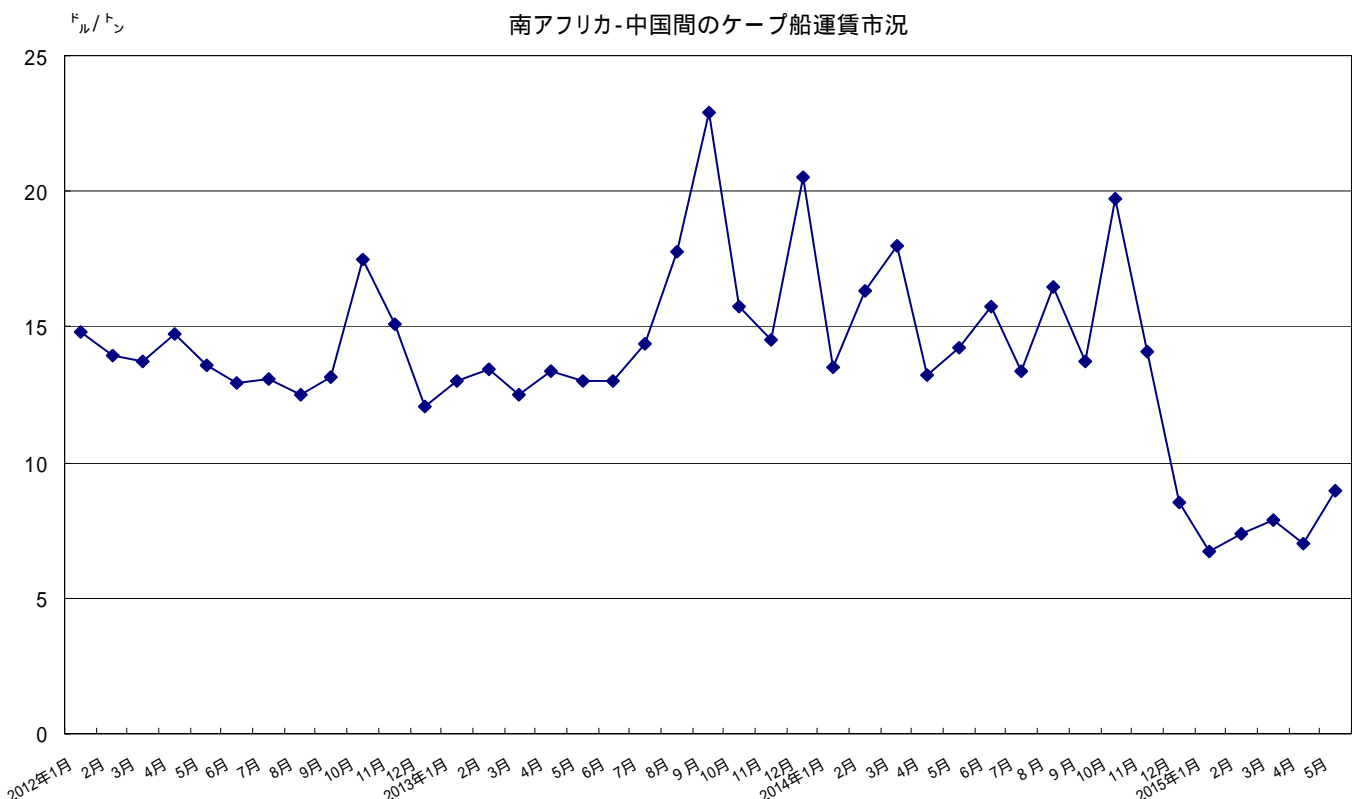
<ブラジル 中国>

米国の穀物企業カーギル社はブラジルのツバロンで鉄鉱石17万トンを船積みするI A N T H E号(2009年建造)を青島向けにト当たり12.65ドル(同スケールロード/30,000トン)で決めた。6月8-17日に用船を開始する。同船はトラフィギュラ社からのリレット船。

中国の宝山鋼鉄はツバロンで鉄鉱石17万トンを船積みするT B Nを青島向けにト当たり12.85ドル(同スケールロード/30,000トン)で決めた。6月10-20日に用船を開始する。

<ブラジル 韓国>

現代グロービス社はブラジルのポンタ・ダ・マデイラで鉄鉱石17万トンを船積みする船主スイスマリン社のT B Nを韓国の唐津向けにト当たり12.80ドル(同スケールロード/60,000トン)で決めた。6月9-13日に用船を開始する。



<Web 閲覧システムには5月15日14時56分に掲載>

## 鉄 鋼 貿 易

## 欧米向け今年下期積み方向性電磁鋼板が商談本格化

今年下期(7~12月)積み方向性電磁鋼板(G0)商談が本格化してきた模様である。しかし、今のところ日本や韓国、それに中国ミルなどのオファーが全く見当たらない状態である。ハイグレードG0の品不足が世界的により深刻なものとなり、ミル側はまず重要な顧客のために社内で販売できる数量を確保するのに懸命で、価格を検討する暇がない状態だからだという。売り渋りしているわけではないが、ミル側は「顧客が価格を決めるだろう」とみて価格案固めを急いではいない様子だ。

中国やインドでは、すでに昨年12月から現在までにハイグレードのG0は、800ドル程度値上がりしている。それでもこの先、どのくらいG0が値上がりするのかミル側も判断できず、各国のミルは他社の値上げ姿勢を見守り、価格提示を遅らせている状態だ。現状では4桁近い値上げ幅となることが予想される。

去る4月、インドでG0の大型入札があり韓国のPOSCOが前回比400ドルアップのCFR3,000ドルで落札した。最も安価だったのが韓国で、次いで米国のAKスチールやドイツのテイッセングループなどが同600ドルアップを提示していた。入札数量はハイグレード材が6,000トンだった。1番札は7割を供給する義務があり、3割は2番札以後の応札者が供給できるシステムだ。だが、3割分を供給するミルは現れなかった。この時点で同3,000ドルではあまりにも安いと、各ミルが判断したためだ。インドでは電力開発が活発だ。経済が成長していくには不可欠なもので送電網の整備が必要でそのためには当然ハイグレードG0需要が拡大し、価格も中国向けなどに追随せざるを得ない状態にある。

欧米地域向け商談も始まっている模様だ。中国やインドと同様にオファーは見当たらない状態である。欧州では5カ国のG0に対しクワの仮決定を下した。AD仮決定によって暫定ADが賦課された。

欧州の変圧器メーカーは世界的なG0の品不足による値上がり分に加え、暫定AD税分をも負担しなければならない状態となっている。仮にG0が4桁の値上げとなり、これに暫定AD税を加えると2,000ドル近いコスト増を覚悟しなければならないことになる。欧州の変圧器各社が著しく国際競争力を国際市場で失うのは確実である。

現段階でG0のオファーは世界的に見当たらないが、5月下旬になれば流石に第一次価格提示を各ミルが実行するものとみられるが、どの程度の値上げをするのか注目される場所である。日本ミル各社は欧州向けでもADを特に意識することなくアジア地域と区別せずに商談を進める姿勢である。

<Web閲覧システムには5月15日16時53分に掲載>

## 鞍山鋼鉄、国内向け6月積みホットを据え置く

関係筋が得た情報によれば、中国の鞍山鋼鉄はこのほど、6月積み国内向け鋼材価格を各需要家に通知した模様である。現段階で伝えられている情報ではホットコイル、溶融亜鉛メッキ鋼板、ガルバリウム鋼板、フルハードを横ばいとしている。また、線材も据え置きである。厚板および冷延は50元(8ドル)下げとされる。

中国の大手高炉では、先に宝山鋼鉄が6月積み国内向け薄板類を据え置くことを明らかにしている。鞍山鋼鉄がこれに大方追随したことによって、大勢としては底入れ、横ばいになったとの見方が日本ミルの間では強くなっている。

多くの中国ミルが赤字決算をだしているために、市場価格はまだ下方傾向を辿っているものの、もはやミル側としては価格を引き下げられないところにきている。武漢鋼鉄はまだ6月積み価格を打ち出していないが、ホットなどを下げることはないだろうと日本ミルは観測している。

<Web閲覧システムには5月15日16時54分に掲載>

## アジアのスラブ価格、下げ止まり横ばいに

関係筋によれば、アジア地域のスラブ価格は底入れし、横ばいで推移している模様だ。CFR320ドルを割り込んでいるとされたロシア産のスラブが市場から消えたことが大きい。

ロシア産のスラブがアジア市場から消えた背景はループルの上昇にあるようだ。同国のホットコイルなどでも4月では再び市場に戻ってきたとされたが、現在はほとんどオファーはない模様だ。国内の需要が高まり、輸出向けから撤退した可能性がある。インドネシアのクラカタウPOSCOのスラブも多くは自国消費(クラカラウ向け)か、親会社である韓国のPOSCOに振り向けられアジアの輸出市場では姿がないとされる。

中国市場では輸入鉄鉱石価格が60ドル近辺まで上昇している。このため、スラブ価格にしても安値が出難い状態となってきた。現状ではまだ値上げのオファーは見当たらないが、ピレットが30ドル程度上昇しているとされるなかで、スラブの反転も近いとみられる。

<Web閲覧システムには5月15日17時19分に掲載>

## コベルコ建機とコベルコクレーン、経営統合へ

神戸製鋼は15日、グループ会社のコベルコ建機とコベルコクレーンが2016年4月1日を目処として経営統合することで検討を開始することを明らかにした。

神戸製鋼グループの建設機械事業(油圧ショベル、クレーン)は1999年10月のコベルコ建機の発足、2002年のCNH Global N.V.(本社:オランダ)との提携開始を経て2004年4月にクレーン事業を分社化、その後2社体制となっている。両社を合算した売上高は約4,000億円で神戸グループの約2割を占めている。

神戸製鋼グループとしては2社の連携を高めて開発から調達、生産、品質、販売面に至るまでの経営効率化を行ない、成長市場に対するグローバル展開力を更に強化することを以前から検討していたが、経営統合に向けた検討を本格的に開始するもの。

<Web閲覧システムには5月15日17時22分に掲載>

## 豪州一般炭、60.00～63.00ドルで成約される

グローバル・コール社のニューカッスル港積み豪州一般炭取引(Phys NEWC)では14日に2015年6月受け渡しのスポット契約が4件成立した。成約価格は60.00～63.00米ドル/mt FOBで、数量は各2万5千トンとなっている。

豪州市場では13日に2015年9月受け渡しのスポット契約が成立している。成約価格は56.90ドルで、数量は8万トンであった。14日の取引における詳細は別表のとおり。

Phys NEWC (FOB Newcastle)			
Deal Date	Quantity (MT)	Delivery Date	Contracted Price (US\$/MT)
14-May	25,000	Jun'15	60.00
14-May	25,000	Jun'15	63.00
14-May	25,000	Jun'15	61.75
14-May	25,000	Jun'15	61.45

<Web閲覧システムには5月15日9時56分に掲載>

## ギルドフォード社がストーン氏を取締役に

豪州のギルドフォード・コール社(Guildford Coal Limited)は15日、デビッド・ストーン(David Stone)氏を取締役(Executive Director)に任命したと発表した。

ストーン氏はこれまで、ウーロンゴン・コール社(Wollongong Coal Limited)の最高執行責任者(Chief Operating Officer:COO)の地位にあった。

<Web閲覧システムには5月15日10時42分に掲載>

## 中部地区、新断ち炉前26,500円超へジリ高

= H2は横ばい基調が継続

中部地区の鉄スクラップ相場は概ね横ばい推移している。東京製鉄田原工場の購入価格は1月31日の値下げが最後で、それ以降3ヵ月半の長期にわたって据え置かれている影響が大きい。ただ新断ちは大型連休後、下値を緩やかに切り上げており、実勢価格はジリ高推移している。

15日時点で中部地区のH2炉前渡しは24,000～24,500円中心。東鉄田原工場の特級価格(海上・陸上)は現時点で24,500円と、同工場の買値は中部地区の炉前平均に近い水準にある。同地区では先月、大型連休を控えていたにも関わらず月間を通じて市況に変動は見られなかった。域内電炉各社は大型連休後も積極的な価格改定を見送ったままで、中部相場は5月後半を迎えても引き続き落ち着きを見せている。

とは言え、新断ち炉前渡しの実勢は15日時点で26,500円以上。26,000円水準での入荷は減少するなど下値は切り上がっており、高値メドは27,000円。大型連休中に発生工場の稼働が止まり供給が落ち込んだことに加え、連休中の操業でミル各社が在庫を減らしたことが背景だ。足元では「新断ちの需給は先月よりもタイト化している」(流通筋)との声が聞かれる。

域内電炉メーカーへの入荷率については「平均するとほぼ使用量見合いで、今月も大きな変化は出ていない」(同)と指摘され、中部相場は目先も「様子見横ばい基調が続くのではないか」(同)との見方が出ている。

また、名古屋港周辺の主要埠頭の集荷価格も、炉前価格と同様に引き続き落ち着いている。15日時点でH2のFAS価格は23,000～23,500円中心を付け、大型連休前と比べ横ばい。もっとも新断ちは26,000～26,500円中心ではあるものの安値寄りの入荷は減少しており、高値では27,000円程度が出るなど、実勢価格はジリ高推移している。

<Web閲覧システムには5月15日16時11分に掲載>

## アジア・リソース社が株主投票を延期

= NRHが提示する会社再建案の是非を問う

英国のアジア・リソース・ミネラルズ社(Asia Resource Minerals plc:ARMS)が現地時間の14日に予定していた株主投票が延期された。

今回の株主投票では、NRホールディングス社(NR Holdings Limited:NRH)が提示している会社再建案(Restructuring Proposal)を実行するか否かが決定されることになっていた。ARMSは改めて7月末までに株主投票を実施し、株主に会社再建案の是非を問うことにしている。

既報のようにARMSは5月初めに、アジア・コール・エナジー・ベンチャーズ社(Asia Coal Energy Ventures Ltd:ACE)から正式な買収案を提示されている。ACEによる買収案ではARMSの株式買い取り価格は41ペンス/1株で、株式100%ベースでの買収額は9880万ポンド。

ACEをコントロールしているのは、香港の投資会社であるアージル・ストリート・マネジメント社(Argyle Street Management Limited)であり、同社はインドネシアの企業集団であるシナル・マス(Sinar Mas)グループの協力を得てARMSの全株取得を目指す。

これに対しNRHとロシアの大手石炭生産者であるSUEK(SUEK plc)は共同でARMSを買収する意思を示している。従って今後、ACEとNRH/SUEKによってARMSの買収合戦が展開されることになる。

ACEによるARMS買収案では、NRHが提示している会社再建案をARMS株主が否決することが条件となっている。従ってARMSが会社再建案を支持すれば、ACEはARMSの買収を取り止める公算が大きい。このため今回の株主投票はARMS買収合戦の前哨戦と位置づけられている。

なお、NRHは、ARMSの主要株主もあるナット・ロスチャイルド(Nat Rothschild)氏のプライベート・カンパニーである。

(宮元)

<Web閲覧システムには5月15日13時41分に掲載>

## 台湾電力、2014年の石炭ソースは68%がネシア

= 2015年はターム契約の調達比率を70%に引き上げ

台湾電力が2014年に調達した石炭のなかで、最も数量が多かったのはインドネシア炭となり、全体の68%を占めた。残りは、豪州炭の32%であった。

台湾電力は2015年の調達計画において、同年の調達ソースをインドネシア炭が63%、豪州炭が34%、ロシア炭が2%、中国炭が1%と設定している。

台湾電力は、2015年の調達量は前年比で78万トン(3%)増の2646万トンになると見積もっている。そのため、調達計画から判断すれば、台湾電力が2015年にロシアから調達する石炭は、52万9千トンとなる。しかし、5月半ば時点で既に、スポット入札を通じて110万トンを超えるロシア炭を手当てしている。

台湾電力は、1年間で消費する石炭の大部分をターム契約で調達している。2014年はターム契約が全体の61%、スポット契約が39%だった。2015年はターム契約の比率を70%に高める。また、調達戦略の一環として、特定の石炭供給国やサプライヤーへの依存を軽減する。(荒井)

<Web閲覧システムには5月15日12時45分に掲載>

## エンビプロ、純利益見通し6.4億円に上方修正

業界初の上場企業で大手鉄スクラップ業者エコネコルなどを傘下に持つエンビプロ・ホールディングス(本社=静岡県富士宮市、佐野富和社長)が15日発表した2015年6月期第3四半期(2014年7月~2015年3月)の連結業績は 売上高:239億1,500万円(前年同期比6.7%減) 営業利益:4億9,300万円(同24.1%増) 経常利益:6億9,500万円(同26.1%増) 当期純利益:4億5,800万円(同19.6%増)と減収増益だった。

当期の鉄スクラップ価格は前年同期と比べ下落した一方、非鉄金属相場は上回って推移した。鉄スクラップ輸出は韓国の主要港で滞船が発生した影響で前年同期と同程度にとどまったが、東南アジアへの販売や小ロットでの販売、非鉄金属の販売増、太陽光発電所の開発収益、為替差益の計上などが増益に寄与した。期末配当は25円(前期実績は記念配当5円を含め15円)に増配する。

2015年6月期の業績予想は 売上高:327億7,000万円(前期比8.4%減) 営業利益:7億200万円(同39.3%増) 経常利益:9億2,800万円(同27.8%増) 当期純利益:6億4,000万円(同16.2%増)に修正。鉄スクラップ価格下落の影響などで従来予想から売上高を59億5,900万円(15.4%)、営業利益を4,300万円(5.8%)引き下げた一方、持分法適用会社の堅調な業績や為替差益の計上などにより経常利益を3,100万円(3.5%)、当期純利益を8,200万円(14.7%)それぞれ上方修正している。

<Web閲覧システムには5月15日16時49分に掲載>

## 伊藤忠エネクスが新石炭火力を予定通り稼働

= 2015年度の消費量は30万トンを弱に増加

伊藤忠エネクスは、山口県防府市の事業所で建設を進めていた石炭火力を、4月上旬に予定通り立ち上げた。新設備の出力は3万6千kW。

防府市の事業所では、既に出力4万4千kWの石炭火力が稼働していた。新設備が発電を開始したことによって、伊藤忠エネクスが防府で運転する石炭火力の出力は、合計8万kWに拡大した。

新たな石炭火力が立ち上がったことによって、防府で消費される石炭は、年30万トンとなる。2014年度に20万トン程となっていた年間消費量は、2015年度に30万トン弱となる見通し。

伊藤忠エネクスは、自社で消費する石炭を、親会社である伊藤忠商事を経由せずに調達している。伊藤忠商事は、伊藤忠エネクスの株式の52%を保有している。

伊藤忠エネクスは、防府の石炭火力を自家発電設備として稼働し、余剰電力を売電している。

<Web閲覧システムには5月15日15時42分に掲載>

(荒井)

## 米国、第1四半期の冷鉄源輸入は283万ト

= 3月単月は前年同月比3割減の78万ト

米国の貿易統計によると、同国の2015年3月の冷鉄源(銑鉄・還元鉄・鉄スクラップ)輸入量は77.8万トにとどまり、前年同月と比べ31.7%減少している。マイナスは2ヵ月連続。内訳は銑鉄が前年同月比23.0%減の39.7万ト、還元鉄が同43.0%減の13.8万ト、鉄スクラップが同36.3%減の24.3万トと、3品目すべてがマイナスだった。

その結果、2015年第1四半期(1~3月合計)の冷鉄源輸入量は282.9万トとなり、前年同期比6.7%減少している。月間平均は94.3万トで年率換算は1,132万ト。

品目別では銑鉄が前年同期比3.1%増の132.9万ト。このうちロシアからの輸入が同18.4%減の59.4万トで最も多く、シェアは44.7%。ブラジルが同34.2%増の50.8万トでこれに続き、シェアは38.3%に上昇。この2ヵ国のシェアは合計で83.0%と8割を超えている。

還元鉄は同23.1%減の53.6万ト。このうちトリニダード・トバゴからの輸入が同13.1%減の47.9万トで突出し、シェアは89.3%。ベネズエラが同40.4%減の3.9万トでこれに続き、シェアは7.3%。両国のシェアは合わせて96.6%にのぼっている。

鉄スクラップは同7.8%減の96.4万ト。輸入先はカナダが同14.3%減の68.1万トで最も多く、シェアは70.7%。次いでイギリスが同83.3%増の11.9万トでシェア12.3%となり、この上位2ヵ国で全体の83.0%を占めている。

米国の銑鉄輸入実績(2015年3月)

(単位:MT)

	2015年			2015年1~3月		2014年1~3月		前年同期比 (%)
	1月	2月	3月	シェア(%)	シェア(%)	シェア(%)		
ロシア	244,555	101,958	247,794	594,307	44.7	728,033	56.5	-18.4
ブラジル	267,712	100,793	139,925	508,430	38.3	378,934	29.4	34.2
ウクライナ	53,044	101,112	-	154,156	11.6	145,287	11.3	6.1
南アフリカ	42,420	16,203	8,200	66,823	5.0	34,900	2.7	91.5
スイス	1,956	-	-	1,956	0.1	0	-	-
カナダ	419	883	557	1,859	0.1	1,413	0.1	31.6
インドネシア	795	-	500	1,295	0.1	0	-	-
中国	19	-	-	19	0.0	0	-	-
チリ	18	-	-	18	0.0	0	-	-
イギリス	-	-	-	0	-	0	-	-
ドイツ	-	-	-	0	-	0	-	-
合計	610,938	320,949	396,976	1,328,863	100.0	1,288,584	100.0	3.1

(出所:U.S. Dept. of Commerce, Bureau of the Census)

米国の還元鉄輸入実績(2015年3月)

(単位:MT)

	2015年			2015年1~3月		2014年1~3月		前年同期比 (%)
	1月	2月	3月	シェア(%)	シェア(%)	シェア(%)		
トリニダード・トバゴ	209,545	142,295	127,013	478,853	89.3	551,291	79.1	-13.1
ベネズエラ	28,136	-	11,000	39,136	7.3	65,675	9.4	-40.4
ブラジル	-	17,971	-	17,971	3.3	0	-	-
日本	63	81	158	302	0.1	251	0.0	20.3
インド	21	42	63	126	0.0	63	0.0	100.0
スペイン	23	23	48	94	0.0	0	-	-
ロシア	-	-	-	0	-	50,502	7.2	-
カナダ	-	-	-	0	-	29,520	4.2	-
ウクライナ	-	-	-	0	-	0	-	-
南アフリカ	-	-	-	0	-	0	-	-
合計	237,788	160,412	138,282	536,482	100.0	697,307	100.0	-23.1

<Web閲覧システムには5月15日14時44分に掲載>

## 15年5月13~14日LME・ニッケル価格

LME ニッケル価格(カソード)

出来高		現物		3ヵ月先物		2015年12月16日
		前場(Ask)	後場(Ask)	前場(Ask)	後場(Ask)	前場(Ask)
5月13日	封度換算価格	* \$ 6.368	\$ 6.400	\$ 6.387	\$ 6.418	\$ 6.482
	トン当たり	* \$ 14,040	\$ 14,110	\$ 14,080	\$ 14,150	\$ 14,290
5月14日	封度換算価格	* \$ 6.273	\$ 6.269	\$ 6.291	\$ 6.287	\$ 6.389
	トン当たり	* \$ 13,830	\$ 13,820	\$ 13,870	\$ 13,860	\$ 14,085

LME ニッケル在庫 2015年5月13日終了時 443,352トン (前日対比 +2,310 MT)

\* 印はセツルメント価格

<Web閲覧システムには5月15日15時00分に掲載>

## 2015年5月15日の合金鉄輸入市況動向

= 金属マンガン続落、バナジウム急騰

2015年5月15日現在の合金鉄の輸入市況動向は以下の通り。

金属シリコン = 中国国内市場では中国国内市場では低品位物を中心に値下がりし、4月末に比べ高品位物は2202グレードがトントン当たり100-200元、3303グレードが同400元、低品位物の5.5.3グレードは同500元値下がりした。生産者の多くは安値売りを嫌気しているが需要家の購入意欲は低調で、市場の成約も安値品が選好されている。短期的に価格上伸の材料も無いため、生産者はオファー価格を小幅に下げて需要家の値頃感を探っている状態だ。

日本国内ではアルミ二次合金向けを中心に下落し、4月末よりもトントン当たり50-60ドル値下がりした。足元で1,800ドル前後の安値品も散見され、先安感が強い。

フェロシリコン = 中国国内ではシリコン75%品と72%品の価格が下げ止まった。フェロシリコン生産者の稼働率が低下し供給量が減少しているためだが、西北地区の一部では4月に操業した生産者数が前月を上回ってもいた。生産者の多くはこれが底打ちになると期待しており、シリコン75%品の輸出向け価格は4月末に比べオファーと成約とも横ばいだった。

日本国内にも中国国内の下げ止まりが波及し、正規輸出品の成約価格は4月中旬から横ばいの状態が続いている。

市場流通品の価格は中国国内の下げ止まりに加え、迂回輸出される現物の減少によってトントン当たり20ドル程度値上がりした。

一方、ロシア品はオファー価格、成約価格とも横ばいだった。

シリコマンガ = インド国内の生産者の多くは輸入マンガン鉱石の価格は下げ止まったと考えており、輸出向けオファー価格の値下げを嫌気している。しかし、一部には4月1日に実施された輸出奨励の比率引き下げで実売価格に近付いたと考えてオファー価格を下方修正するケースも現れている。

日本国内では4-6月期の普通鋼生産が前期比2.5%減少との予想から、シリコマンガンの購入意欲が弱い。電炉ミルのスポット物入札でも4月中の入札より安値で決定するケースが散見されている。

中国国内の価格は4月末に比べトントン当たり50元と小幅に下落した。4月中、西北地域での操業度が3月よりも高く、市場への供給量が増加したことが要因だ。また、今後は南方地域での操業度も上がり、供給量の増加予想による先安感が市場にはある。一方、日本向けの輸出については日本国内での値下げに反応してオファー価格を引き下げしたが、特に成約はなかった。

チャージ・クロム = 南アフリカでは電力公社エスコムによる電力代の引き上げが適用されて1ヵ月半が経過し、生産コストへの影響が明確になった。また、6月からは冬場(南半球)の割高な電力料金になることから、来期(7-9月期)のチャージクロム・ベンチマーク価格引き上げを求める声が強くなっている。しかし、生産量としては堅調が続く一方、7-9月期はステンレス鋼生産を中心としたクロム消費が減少するため、需要家側としては値下げを希望する動きになりそうだ。そのため6月に行われるベンチマーク価格交渉は難航も予想されている。

スポット物について、日本国内では依然として取り引きの無い状態が続いている。

低炭素フェロクロム = 日本国内の市場環境に大きな変化は無く、スポット物はオファー価格、成約価格とも変化はなかった。

モリブデン = LMEのモリブデン価格は5月初頭から中旬までトントン当たり17,250ドルを挟んで上下する展開になったが、欧州をはじめとした世界市場では酸化モリブデンとフェロモリブデンがともに下落しており、足元の価格は年初来最安値を更新した。(次頁につづく)



バナジウム = 価格は4月末に底を打ち反発、上旬までは緩やかな上伸だったが、中旬に入って急騰した。4月末に比べポンド当たり1.25-1.40ドル上伸している。理由として4月14日に南アフリカのハイベルド社が事業再生法の適用を申請したことが挙げられる。現在、同社の下工程やMapochs 鉱山の操業は止まっており、同社から原料供給を受けて五酸化バナジウムを生産しているバンケム社が5月に入って不可抗力宣言を出した。この展開に欧州では供給不安が表面化、需要家と商社のパニック買いにより価格が急騰している。

日本では足元で市場在庫が不足している実感がまだないが、すでに中国の生産者は輸出向けカーゴを値上げしたり、売り渋りを始めている。

金属マンガン = 中国国内の価格は続落し、市場の中心価格は4月末に比べてトントン当たり700-800元下落した。5月上旬、日本の大手ミルが4月下旬に入札した安値が起爆剤となって中国国内では価格が急落したが、足元では10,000元を抵抗線としてここ3日間ほど下げ止まっている。10,500元以上のオファーを提示する生産者の存在や、大手生産者の減産で市場の需給バランスが改善しつつあることもプラス材料になっている様子だ。価格推移について市場関係者の一部は現在を底打ちと見ているが、反発はなく当分は横ばいになると考えている。ただ、先週は韓国POSCOの入札で更なる安値が出たほか、東日本でも近似の安値が出ており、生産者とシッパーは市場価格の下落を警戒している。この5月中旬には前述の大手鉄鋼ミルで6月分の入札があり、その価格に注目が集まっている。

日本国内の成約価格はタイムラグがあるものの中国国内価格と連動しており、4月末に比べ90-130ドル値下がりした。市場では前述の大手鉄鋼ミルの入札価格を下回る安値品が散見される一方で高値品もあり、上値とした値の価格差が広がっている。(T・斉藤)

合金鉄輸入価格動向(2015年5月15日)

品 種	標準的オファー価格 (CIF、日本)	需要家持ち込み渡し価格 (関税、諸経費込み)	積 期	契約価格水準 (CIF、日本)
金属シリコン (アルミ用)	レギュラー(一次Al) (化学用、伯国品) ノミナル			
	スポット(Ca 0.3% 二次Al用) 1,900 - 1,940 ドル/トン	248,129 - 253,310 円/トン	5-6月積み	1,820 - 1,870 ドル/トン
フェロシリコン (Si 75% ベース)	中国品 正規輸出品 1,305 - 1,345 ドル/トン	171,228 - 176,415 円/トン	5-6月積み	1,235 - 1,265 ドル/トン
	市場流通品 1,190 - 1,240 ドル/トン	156,315 - 162,799 円/トン	5-6月積み	1,160 - 1,200 ドル/トン
	その他 1,305 ドル/トン	171,051 円/トン	5-6月積み	1,280 - 1,300 ドル/トン
シリコマンガ (Mn 65%)	中国品 1,340 - 1,380 ドル/トン	180,580 - 185,911 円/トン	5-6月積み	中国品 ノミナル
	インド品 950 - 1,010 ドル/トン	128,605 - 136,601 円/トン	5-6月積み	インド 830 - 890 ドル/トン
チャージ・クロム (クロム50%) トン/封度当たり	レギュラー品 ベンチマーク 116 トン ネット価格 109 トン	161,379 円/トン 151,761 円/トン	4-6月積み 4-6月積み	レギュラー品 ベンチマーク 116 トン ネット価格 109 トン
	随時契約(含スポット) (HcCr=Cr 60-65%) * ノミナル		5-6月積み	ノミナル
	低炭素フェロクロム (C 0.1%, Cr65%) (注: 中国品Cr60%)			
低炭素フェロクロム (C 0.1%, Cr65%) (注: 中国品Cr60%)	レギュラー 207 - 209 トン/封度	371,731 - 375,304 円/トン	4-6月積み	207 - 209 トン/封度
	スポット 207 - 210 トン/封度	371,731 - 377,090 円/トン	5-6月積み	207 - 210 トン/封度
酸化モリブデン (FeMo価格=中国)	7.55 - 7.66 ドル/lb (19.10 - 19.28 ドル/kg)	Mo 1% 21,254 - 21,558 円/トン	5-6月積み	ノミナル
フェロバナジウム	21.25 - 22.90 ドル/kg	V 1% 27,921 - 30,047 円/トン	5-6月積み	ノミナル
電解金属マンガン (中国産 Mn99.7%)	1,850 - 1,900 ドル/トン	248,547 - 255,211 円/トン	5月積み	1,710 - 1,780 ドル/トン

(注) 需要家持ち込み価格は1米ドル当たり119.47円で計算。

中国産フェロシリコンの正規輸出品とは中国から正規ルートで輸出された物。市場流通品とは、日本市場において中国品として流通している物の中心的価格。(ベトナムなど第三国経由の中国品も含まれる)  
インドなどシリコマンガンの市場進出が大きいので、中国品とは別掲して価格を2009年4月15日から掲載。  
チャージ・クロムの価格欄のベンチマーク価格は当社の表示価格である。鉄鋼ミルの公売価格の期別の値上げ、値下げ決定を参考に当社が市場調査を実施した価格である。

\*は高炭素フェロクロム(Cr60-65%)でステンレス鋼ミルの随時契約価格。  
2008年1月よりチャージ・クロムのCr純分を55%から50%に変更した。輸入品の品位低下によるもの。  
低炭素フェロクロムの価格はスポット市場が小規模なので一本化した価格に2007年9月14日以降変更。

<Web 閲覧システムには5月15日17時04分に掲載>

## 電炉・鉄スクラップに関する主な出来事(2015年4月)

日付	出来事	
1	鉄源協調べ 4ヵ月ぶり反発	日本鉄源協会が全国の鉄スクラップ供給業者とメーカー合計61社を対象に実施した鉄スクラップ価格のモニター調査(H2炉前渡し中値平均)の結果によると、3月5週の関東・中部・関西の主要3地区平均価格はト/当たり22,746円と、前週比167円上昇。3地区平均価格の値上がりは昨年12月2週以来およそ4ヵ月ぶり、今年に入って初めて。各地区の価格は関東=23,167円(前週比500円高)、中部=21,320円(同横ばい)、関西=23,750円(同横ばい)。
3	インドネシア 14年輸入214万ト	インドネシアの2014暦年の鉄スクラップ輸入量は速報ベースで前年比10.9%減の213.7万トとなり、2年ぶりマイナス。月間平均は17.8万ト。輸入先はシンガポールが同14.2%増の38.0万トで最も多く、シェアは17.8%。米国が同37.5%減の35.8万トで第2位に後退し、シェアは16.7%に低下。オーストラリアが同6.7%減の35.3万トと僅差で続き、シェア16.5%を占めている。
6	マレーシア 14年輸入96万ト	マレーシアの2014暦年の鉄スクラップ輸入量は前年比49.9%減の96.1万トとほぼ半減。月間平均は8万ト。暦年の輸入量が100万トを割り込んだのは1998年以来で、2000年以降では初めて。輸入相手先は米国が同25.0%減の46.9万トで最も多く、シェアは48.8%。次いでオーストラリアが同31.9%減の18.0万トとなり、シェアは18.7%に上昇している。
8	現代製鉄 ハイスコ合併	韓国・現代製鉄は8日、同日開いた理事会で現代ハイスコの合併案を決議したと発表。5月28日開催予定の株主総会で承認を得た後、7月1日までに合併手続きを済ませる。両社の合併比率は1対0.8577で、現代製鉄が新株を発行し、現代ハイスコ株式1株当たり現代製鉄の株式0.8577株をハイスコ株主に交付する。現代製鉄は「合併は事業の多角化とグローバルな販売競争力の強化が狙い」と説明し、「合併が完了すれば資産規模31兆ウォン、売上高20兆ウォン規模のグローバル鉄鋼会社に成長する」などとコメント。
9	関東鉄源入札 25,198円(FAS)	関東鉄源協同組合(山下雄平理事長)は9日、4月契約輸出向け鉄スクラップ販売競争入札を実施し、落札価格はH2でト/当たり25,198円(FAS)と前月比2,378円上昇した。値上がりは昨年12月以来、4ヵ月ぶり。落札は産業振興=25,200円(10,000ト)、産業振興=25,200円(10,000ト)、産業振興=25,190円(5,000ト)の3件で合計25,000ト。応札は14社から23件寄せられ、応札数量は合計14.2万トと同2.0万ト増加した。
9	東京製鉄 防衛策を廃止	東京製鉄は9日、同日開催の取締役会で、6月下旬開催予定の定時株主総会の終結時に有効期限を終える買収防衛策を継続せず、廃止することを決議したと発表。2007年6月の定時株主総会で「当社株式の大規模買付行為に関する対応策(買収防衛策)」を導入し、その後も株主総会での承認を経ながらこれを更新してきた。同社はかつて大阪製鉄との経営統合を発表したが、ファンドとの委任状争奪戦の末、統合計画が白紙に追い込まれた経緯がある。
13	ウクライナ 14年冷鉄源輸出	ウクライナの2014暦年の鉄輸出量は前年比2.3%減の220.9万トと、2009年以来5年ぶりのマイナスだったが、前年に続いて200万トを超えた。輸出先はイタリアが同3.9%減の75.5万ト(シェア34.2%)で最多。一方、昨年の鉄スクラップ輸出量は92.2万トと同261.2%大幅増。プラスは2011年以来、3年ぶり。輸出先はトルコが同4.2倍の82.5万トで最も多く、シェアは89.5%とおおよそ9割。
13	普電工会長 再生エネ買取に苦言	普通鋼電炉工業会の野村寛会長(JFE鋼社長)は13日の定例会見で、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に強い懸念を示し、「15年5月分から16年4月分までの再生可能エネルギー発電促進賦課金の単価はkWh当たり1.58円と前年度の0.75円/kWhと比べ2倍に増える。これによる普電工会員各社の負担増は合計30億円に達する見通し」と述べ、「固定価格買取制度には『売却者間で競争原理がまったく働いていない』などの問題があり、普電工として先日、与党に制度見直しを要望した」と語った。
15	ドイツ14年輸出 908万ト	ドイツの2014暦年の鉄スクラップ輸出量は速報値で907.8万トと、前年比1.7%減だった。前年実績を下回るのは3年連続。ただ5年連続で900万ト台を記録している。輸出先をみるとオランダが同1.3%増の180.3万トで最多となり、シェアは19.9%へ小幅上昇。イタリアが同8.1%減の169.6万トでこれに続き、シェアは18.7%に低下。
15	転炉消費 2月は72万ト	日本鉄源協会(会長=太田克彦・新日鉄住金副社長)のまとめによると、2月の国内転炉の鉄スクラップ消費量は71.8万トにとどまり、前月比6.3万ト(8.1%)減少。稼働日数の減少が響いたとみられ、マイナスは2ヵ月ぶり。2013年2月(71.8万ト)と肩を並べる2年ぶりの低水準だった。これに対し転炉の2月の鉄スクラップ消費原単位は前月比1.5kg(1.4%)増の111.5kgに上がっている。上昇は2ヵ月連続。
15	共英製鋼 新社長に森氏	共英製鋼は15日、同日開催の取締役会で森光廣顧問(ピナ・キョウエイ・スチール社長)が代表取締役社長に就く人事を決議した。6月22日に就任予定。森田浩二現社長は相談役に就く。新社長に就任する森氏は昭和22年生。昭和45年3月共英製鋼入社。

(次頁につづく)

日付	出来事	
17	韓国3月輸入 米国から急減	韓国の3月の鉄スクラップ輸入量は37.3万トにとどまり、前年同月比43.3%大幅に減少。輸入先は日本が24.4万トで最多だったが、同27.6%減。ロシアが同0.5%微減の5.5万トで第2位に浮上した一方、米国は同89.4%大幅減の1.4万トで第3位に後退した。米国からの輸入量はデータを遡及できる1996年1月以降の過去およそ20年間で最も少ない。1～3月合計の輸入量は119.6万トとなり、前年同期比47.8%減とほぼ半減している。
17	関西鉄連入札 24,130円(FAS)	関西鉄源連合会(黒川友二会長)は17日、鉄スクラップ共同輸出を行うため第49回競争入札を実施し、アラエ商会がH2ベースト当たり24,130円(FAS)で5,000トを落札した。3月16日に実施された第48回入札の落札価格を1,220円上回った。積み期条件は5月14日から6月13日まで。応札は12社から寄せられ、応札数量は合計60,000ト。次点は24,010円と1番札とは120円の差だった。関東鉄源協同組合が9日に実施した入札の結果と比べ1,068円安。
20	東鉄鋼材 5契も据え置き	東京製鉄は20日、5月契約の鋼材販売価格を全品種で据え置くと表明。今村清志・常務取締役営業本部長は「首都圏の再開発物件や大型物流倉庫などの民間設備投資が出てきている。懸念していた加工能力不足のボトルネックも少しずつ解消している」と述べ、足元の需要環境について「新年度のスタートとして悪くない状況」だとの認識を示した。販売建値は、H形鋼=77,000円、異形棒鋼=62,000円、厚板=72,000円、ホットコイル=63,000円。
20	14年度小棒生産 906.6万ト	日本鉄鋼連盟が20日発表した鉄鋼生産統計によると、3月の小棒生産量(速報値)は前年同月比1.4%減の75万8,200トとなり、その結果、2014年度の小棒生産量は906万6,400トと、前年度比4.1%減少している。月間平均は75.6万ト。2009年度以来5年ぶりに前年実績を下回ったが、3年連続で900万トを超え、2012年度(904.5万ト)とほぼ同じ水準だった。
21	東鉄の前期 営業益5.4倍	東京製鉄が21日発表した2015年3月期の単独決算は 売上高:1,656億円(前期比19%増)、営業利益:132億円(同442%増)、経常利益:138億円(同337%増)、当期純利益:104億円(同353%増)と大幅増益を達成。鋼材販売数量が前期比27.9万ト(14.0%)増の227.6万トに増加したことに加え、メタルスプレッドが40,500円と同7,100円大幅拡大したことが寄与した。
22	豊通、欧州事業 特損140億円	豊田通商は22日、欧州などでリサイクル事業を営む関連会社(議決権比率39.9%)に関して、2015年3月期第4四半期の単体決算で合計約140億円の特別損失を計上すると発表。関連会社に対する株式の回復可能性や債権の回収可能性を検証した結果、回復や回収が困難と認められた部分について関係会社出資金評価損などを計上する。2015年3月期連結決算でも、持分法による投資損失として合計約120億円の損失を計上するとした。
23	オランダの輸出 14年は450万ト	オランダの2014暦年の鉄スクラップ輸出量(速報ベース)は450.3万トとなり、前年比6.6%減少。マイナスは2年連続。輸出先はトルコが最多で同9.1%減の124.7万ト(シェア27.7%)。ベルギーが同5.3%減の86.5万ト(シェア18.0%)でこれに続き、ドイツが同7.0%減の79.6万ト(シェア16.6%)で第3位。これら上位3カ国がシェアで2ケタとなり、合計では62.3%。
23	イタリアの輸入 14年は514万ト	イタリアの2014暦年の鉄スクラップ輸入量(速報ベース)は514.5万トとなり、前年比3.7%増加。3年ぶりにプラスとなり、2年ぶりに500万ト台を回復した。輸入相手先はドイツが最も多く、前年比6.3%増の175.6万ト(シェア34.1%)。これにフランスが同1.8%増の68.8万ト(シェア13.4%)で続いている。
23	ニューコアの1Q 純利益6,780万ドル	米ニューコアが23日発表した2015年第1四半期(1～3月期)連結業績は、売上高が前年同期比13.9%減の43億9944.0万ドル、税引き前利益が同42.6%減の1億1904.5万ドル、当期純利益が同38.9%減の6780.0万ドルと減収減益だった。当期の粗鋼生産は475.8万トと同9%減少。平均販売単価は781ドルと同44ドル下落し、外部顧客への出荷量は同9%減の563.5万トにとどまった。製品出荷数量が減少したうえ、販売単価が下落したことが響いた。
24	現代製鉄1-3月期 営業利益率9.8%	現代製鉄が24日発表した2015年第1四半期(1～3月期)決算は、営業利益が前年同期比46%増の3,405億ウォンと増益を達成し、売上高営業利益率は2ケタに迫る9.8%を記録した。高付加価値製品の販売が増加し、収益性が向上。一方、売上高は長期化している鉄鋼市況不振のあおりで前年同期比12.1%減の3兆4,611億ウォンに落ち込み、2ケタ減収だった。
24	朝日工業 新社長に村上氏	朝日工業は24日、同日開催の取締役会で、5月1日付で同社の特別顧問に就任予定の村上政徳氏が新社長に就く人事を内定した。6月25日開催予定の定時株主総会とその後取締役会を経て正式就任する。赤松清茂現社長は相談役に就く。2015年3月期の黒字化と今後の業績回復に見通しが立ったことから、新体制で2016年度から3カ年の次期中期経営計画を策定し推進する。
24	スペインの輸入 14年は493万ト	スペインの2014暦年の鉄スクラップ輸入量は493.4万トと500万トに迫り、前年比0.1%微増だった。小幅ながら前年比プラスは2年連続。輸入相手先はフランスが同2.3%減の164.2万ト(シェア33.3%)で最も多く、イギリスが同20.6%減の104.0万ト(シェア21.1%)でこれに続いた。ロシアが同32.5%増の58.2万ト(シェア11.8%)で第3位。

(次頁につづく)

日付	出来事	
24	東国製鋼 本社ビル売却	韓国電炉メーカー大手の東国製鋼は24日、同日開催の理事会でソウル市・乙支路に置く本社社屋フェロムタワーの売却を決議し、サムスン生命保険に4,200億ウォン(約463億円)で売却することで同社と合意した。売却日は5月22日の予定。売却は財務構造の改善を進めるのが目的で、下期に償還期を迎える社債の償還や運転資金に充てる。フェロムタワーは2010年に建設された地上28階、地下6階の近代的なビルで、名称のフェロムはラテン語で鉄を意味する。
27	国内相場 再び「東高西低」	国内鉄スクラップ相場は約3ヵ月ぶりに、関東地区の市況が関西地区を上回る「東高西低」を形成。27日時点で関東地区H2炉前渡しは25,000~25,500円中心を付け、前週比500円高。一方、大阪地区はH2炉前渡し24,000~24,500円中心へ小幅に下落し、結果的に「西高東低」にあった東西価格は再び「東高西低」へと逆転している。
27	小棒懇会長 前年度を評価	全国小棒懇談会は27日、東京・茅場町の鉄鋼会館で第50回定時総会を開催し、中村真一会長(新日鉄住金執行役員建材事業部長)を再任した。総会後の会見で中村会長は「2014年度の需給バランスは年を通せばそこそこ良かったと総括している。危険水域に入るときもあったが意外と早く収束し、年を通して需給バランスを保てたことが会員各社の数年来の好業績につながったのではないかと評価した。
28	14年の出荷量 3,187万ト	2014年(1~12月)の鉄スクラップ出荷量は前年実績を小幅に下回った。国内需要家によるスクラップ購入量は2468.1万トと前年比46.5万ト(1.9%)増加。このうち域内調達量は同14.9万ト(0.7%)小幅増の2076.7万トとなり、域内調達率は84.1%と前年から1.0ポイント低下した。一方、普通鋼スクラップの輸出量は同74.5万ト(9.4%)減の719.3万トで、これらを合わせた国内スクラップ出荷量は同28.0万ト(0.9%)減の3187.4万トと2年連続のマイナスだった。
30	三菱製鋼新社長 佐藤常務が昇格	三菱製鋼は30日、同日開催の取締役会で佐藤基行常務取締役が社長に昇格する人事を内定したと発表した。6月19日開催予定の定時株主総会とその後開催される取締役会を経て正式に就任する。大野信道現社長は相談役に就く。

<Web閲覧システムには5月15日15時16分に掲載>

### <CIOPI>14日付け輸入鉄鉱石価格 59.81 ドル

= 国内鉄鉱石価格が5日ぶりに上昇

中国鋼鉄工業協会(CISA)が調べた14日の輸入鉄鉱石価格は含有鉄分62%の粉鉱がト当たり59.81ドル、前日比0.30ドル(0.5%)減、含有鉄分58%の粉鉱は53.77ドルで同0.11ドル(0.2%)減と、いずれもダウンした。指標となる鉄分62%の粉鉱が60ドルを割るのは4日ぶり。

元建て(増値税込み)では為替レートの関係で、それぞれ478.55元(約9212円、1元=19.25円)、435.58元(約8385円)と前日からそれぞれ3.43元、3.85元、上昇した。

国産鉄鉱石(成品)価格は5日ぶりにアップした。含有鉄分62%の鉄鉱石がト当たり550.75元(1万602円)、含有鉄分65%の鉄鉱石が579.81元(1万1161円)。元建てでみた内外価格差(含有鉄分62%)は国内鉱に比べ輸入鉱の方が72.2元(13.1%)安となった。

鉱石価格指数(1994年4月=100.0、CIOPI)は219.82となり、前日比2.68ポイント減。内訳は国内鉱が214.04で同0.84ポイント・アップ。輸入鉱は221.44で同1.11ポイント減となった。

<CIOPI>中国鉄鉱石価格指数

	鉄鉱石 価格指数	国内鉄鉱石				輸入鉄鉱石(CFR)			
		指数	平均価格(元/ト)		指数	鉄分62%		鉄分58%	
			鉄分62%	鉄分65%		米ドル/ト	元/ト	米ドル/ト	元/ト
2015年4月									
30日	211.95	545.38	573.42	573.42	208.92	56.43	450.21	49.63	401.99
2015年5月									
1日	労働節(休日)								
4日	210.04	212.56	546.96	575.31	209.33	56.54	454.57	49.74	405.10
5日	213.94	-	-	-	214.33	57.89	465.60	51.02	415.64
6日	218.65	-	-	-	220.36	59.52	473.47	52.66	423.01
7日	218.07	213.20	548.59	577.18	219.44	59.27	470.95	52.40	421.16
8日	217.90	-	-	-	219.22	59.21	470.66	52.24	420.83
11日	221.98	-	-	-	224.44	60.62	477.95	54.03	433.27
12日	222.09	-	-	-	224.58	60.66	478.93	54.34	435.88
13日	222.50	-	-	-	222.55	60.11	475.12	53.88	431.73
14日	219.82	214.04	550.75	579.81	221.44	59.81	478.55	53.77	435.58
前日比(±)	-2.68	0.84	2.16	2.63	-1.11	-0.30	+3.43	-0.11	+3.85

:横ばい

<Web閲覧システムには5月15日14時52分に掲載>

## エッサール・ポート、バイザグ鉄鉱石バースを買収

= エッサールの鉄鉱石扱い能力は半島東岸港で3900万トンに

インドのエッサール・ポート(EPL)社はバイザグ港湾信託公社(VPT)のバイザグ鉄鉱石取り扱い設備資産(OHC)を買収すると発表した。

EPLは2013年6月にVPTとの間でOHCの機械化と近代化を図り、資金は30年間のBOT方式で回収することで合意していたが、今回、さらに踏み込んだ形でエッサールがOHC資産を買収することになった。収益は港湾当局へも還付する。

OHCはバイザグ外港のバース2基と内港のバース1基で、2段階の近代化工事によってOHCの鉄鉱石の年間取り扱い能力は2300万トンとなる。

クリシュナ・バブVPT総裁は、「効率的な港湾運営に港湾設備の扱い能力を増やし、近代化を図ることが欠かせない。エッサール社が港湾施設を最新鋭にアップグレードし、それによって船積み量が増え、船舶の寄港から出港までの時間を少なくとも半分に減らすことができると確信している」などとしている。

EPLはプロジェクトに120億ルピー(約225億円、1ルピー=1.88円)を投下し、第1段階で外港(OB、)の近代化、第2段階で内港(WQ-)の機械化を3年間で推進する。

近代化・機械化の推進開始にあたって同社のラジブ・アンガワルCEO兼社長は、「設備は内外製鉄会社に供用する」としており、これまで同社が明らかにしたところによるとエッサール・グループに年間2300万トン、他社向けに1700万トンとしていた。

また、バイザグ港とパラディーブ港の鉄鉱石扱い設備(CQ)の近代化に伴って東海岸港の鉄鉱石扱い能力は年間3900万トンとなる。

<Web閲覧システムには5月15日16時38分に掲載>

## 台湾電力業、3月の石炭消費量は268万トン

台湾の能源局によると、2015年3月における電力業の石炭消費量は268万3千トンとなり、前年同月と比較して12万1千トン(4.3%)減少した。

また、1~3月における消費量は782万9千トンとなり、前年同期比で37万4千トン(4.6%)減少した。詳細は別表のとおり。

(in MT)

	Taipower			IPPs		Total
	Bituminous Coal	Sub-Bituminous Coal	Sub-Total	Bituminous Coal		
Jan 2014	800,230	1,246,866	2,047,096	749,131	2,796,227	
Feb	1,206,128	862,423	2,068,551	533,766	2,602,317	
Mar	1,086,025	1,131,379	2,217,404	587,247	2,804,651	
Apr	1,149,448	1,058,462	2,207,910	615,818	2,823,728	
May	1,173,733	1,146,160	2,319,893	654,160	2,974,053	
Jun	1,286,266	1,058,138	2,344,404	617,986	2,962,390	
Jul	1,461,722	1,027,825	2,489,547	733,996	3,223,543	
Aug	1,357,033	1,095,276	2,452,309	812,396	3,264,705	
Sep	733,822	1,492,760	2,226,582	762,500	2,989,082	
Oct	1,129,359	888,898	2,018,257	740,602	2,758,859	
Nov	828,792	1,114,627	1,943,419	743,171	2,686,590	
Dec	1,122,972	862,091	1,985,063	749,707	2,734,770	
Jan 2015	968,014	1,094,278	2,062,292	747,820	2,810,112	
Feb	948,361	860,682	1,809,043	527,054	2,336,097	
<b>Mar</b>	<b>1,059,975</b>	<b>975,392</b>	<b>2,035,367</b>	<b>647,898</b>	<b>2,683,265</b>	
Mar 2014	1,086,025	1,131,379	2,217,404	587,247	2,804,651	
2015-2014	-26,050	-155,987	-182,037	60,651	-121,386	
15/14 (%)	-2.4	-13.8	-8.2	10.3	-4.3	

	Taipower			IPPs		Total
	Bituminous Coal	Sub-Bituminous Coal	Sub-Total	Bituminous Coal		
<b>Jan - Mar 2015</b>	<b>2,976,350</b>	<b>2,930,352</b>	<b>5,906,702</b>	<b>1,922,772</b>	<b>7,829,474</b>	
Jan - Mar 2014	3,092,383	3,240,668	6,333,051	1,870,144	8,203,195	
2015-2014	-116,033	-310,316	-426,349	52,628	-373,721	
15/14 (%)	-3.8	-9.6	-6.7	2.8	-4.6	

(Bureau of Energy, Ministry of Economic Affairs)

<Web閲覧システムには5月15日12時41分に掲載>

## ウーロンゴン社のシン会長兼 CEO が退任

= ストーン C00 も退任しギルドフォード社取締役任に

豪州の石炭会社であるウーロンゴン・コール社(Wollongong Coal Limited:WLC)のジャスビル・シン(Jasbir Singh)会長兼最高経営責任者(Executive Chairman and Chief Executive Officer)およびデビッド・ストーン(David Stone)最高執行責任者(Chief Operating Officer:C00)が相次いで退任した。

うちストーン氏は、ギルドフォード・コール社(Guildford Coal Limited)の取締役(Executive Director)に就任している。

ウーロンゴン社は以前、NSW州イラワラ(Illawarra)地区でラッセル・ベール炭鉱(Russell Vale Colliery)とウォンガウィリイ炭鉱(Wongawilli Colliery)炭鉱の2炭鉱を操業していた。うちウォンガウィリイ炭鉱はケア&メンテナンス状態に置かれており、現在はラッセル・ベール炭鉱のみが操業されている。

既報のようにウーロンゴン社は5月上旬に、ラッセル・ベール炭鉱のロングウォール(LW)操業を再開している。

ウーロンゴン社は、インドの大手製鉄/電力会社であるジンダル・スチール&パワー社(Jindal Steel & Power Ltd Limited)の子会社である。 (宮元)

<Web 閲覧システムには5月15日16時52分に掲載>

## KOSEP のスポット入札で豪州炭とネシア炭が落札

= 落札価格は SP05 が 55 ドル弱、SP06 が 52 ドル強

韓国の南東発電(Korea South-East Power Co.Ltd.:KOSEP)が5月14日締切りで実施した一般炭のスポット競争入札2件(KOSEP-Coal-2015-SP05・SP06)の結果が、明らかになった。

NCV 5500kcal/kg以上の発熱量が求められていたSP05では、豪州炭が26万トンを全量落札した。落札価格は55米ドル弱/mt FOB(NCV 6080kcal/kg Basis)。

SP06では、インドネシア炭が52米ドル強/mt FOB(NCV 6080kcal/kg Basis)で全量落札した。南東発電は計24万トンを調達する。発熱量NCV 4600kcal/kg以上の一般炭が対象となっていた。

SP05では、豪州炭のサプライヤー6社が応札している。SP06には8社が参加し、インドネシア炭と米国炭をオファーした。

南東発電が前回、2月12日締切りで実施した一般炭のスポット競争入札2件(KOSEP-Coal-2015-SP03・SP04)では、落札価格はSP03が60ドル、SP04が54ドルであった。SP03では5700kcal/kg以上、SP04では4600kcal/kg以上の発熱量が求められていた。 (荒井)

<Web 閲覧システムには5月15日16時43分に掲載>

## 15年5月13～14日LMEのモリブデン・コバルト価格

LME モリブデン価格

出来高		現物		3ヵ月先物		15ヵ月先物	
		買値(BUYER)	売値(SELLER)	買値(BUYER)	売値(SELLER)	買値(BUYER)	売値(SELLER)
5月13日	封度換算価格	\$ 7.530	\$ 7.756	\$ 7.711	\$ 7.938	\$ 7.820	\$ 8.274
	トン当たり	\$ 16,600.0	\$ 17,100.0	\$ 17,000.0	\$ 17,500.0	\$ 17,240.0	\$ 18,240.0
5月14日	封度換算価格	\$ 7.620	\$ 7.847	\$ 7.711	\$ 7.938	\$ 7.818	\$ 8.271
	トン当たり	\$ 16,800.0	\$ 17,300.0	\$ 17,000.0	\$ 17,500.0	\$ 17,235.0	\$ 18,235.0

LMEモリブデン在庫 2015年5月14日開始時 120トン

LME コバルト価格

出来高		現物		3ヵ月先物		15ヵ月先物	
		買値(BUYER)	売値(SELLER)	買値(BUYER)	売値(SELLER)	買値(BUYER)	売値(SELLER)
5月13日	封度換算価格	\$ 13.608	\$ 13.699	\$ 13.608	\$ 13.699	\$ 13.630	\$ 14.084
	トン当たり	\$ 30,000.0	\$ 30,200.0	\$ 30,000.0	\$ 30,200.0	\$ 30,050.0	\$ 31,050.0
5月14日	封度換算価格	\$ 13.608	\$ 13.699	\$ 13.608	\$ 13.699	\$ 13.630	\$ 14.084
	トン当たり	\$ 30,000.0	\$ 30,200.0	\$ 30,000.0	\$ 30,200.0	\$ 30,050.0	\$ 31,050.0

LMEコバルト在庫 2015年5月14日開始時 468トン

<Web 閲覧システムには5月15日15時03分に掲載>

## 韓国向け新規輸出、引き続き先高ムード

= 韓国からの引き合い増加

関東鉄源協同組合入札後の新規輸出マーケットは先高ムードを漂わせている。同入札で落札平均が2.50万円(FAS)を超えたこともあり、オファー価格はH2ベース26,000円(FOB)以上を付け、これを受けて商談価格も切り上がる流れにある。

先週後半の韓国向け輸出相場では、現代製鉄はじめ東国製鋼、セアベスチール、ポスコP&Sなど主要ミルが日本産スクラップ買い付けに乗り出した。ただ、買い手の多くは高値成約にはまだ慎重とされ、新規成約数量は伸びていないものとみられる。

現代製鉄は15日午後を締め切りとして6～7月積み日本産スクラップのオファーを集めたが、同日夕時点でまだビッドは聞かれていない。同社の関東鉄源入札後の新たな買い付け価格がまだ見えていないこともあって、他ミルでも「ビッドを大きく引き上げる動きはまだ広がっていない」(流通筋)と言う。

韓国では電炉メーカー各社が18日から国内スクラップ購入価格をト当たり5,000～10,000ウォン値下げする意向を供給各社に伝えている。前回の月初の値下げ予告に対しては現代製鉄や東国製鋼が予定通り実行した一方、釜山地区の電炉メーカーは事実上値下げに失敗している。そのため韓国ミルには、18日からの購入価格引き下げが浸透するまで輸入スクラップを表立って値上げするのは避けたいとの考えも背景にあるようだ。

現代製鉄は大型連休前にH2を25,000円(FOB)で手当てしたが、こうした価格での新規成約はすでに困難な情勢で、流通筋では同社が近く出すと見られるビッドが他ミルの目先の購買動向にも影響を与えると見て注目している。

<Web閲覧システムには5月15日17時30分に掲載>

## ロシア、2015年2月のFeSi輸出量は28,584ト

= 前月比22%減少、オランダ向け大幅減少

ロシアの通関統計によると2015年2月のスタンダード品フェロシリコン(Si>55%)輸出実績は28,584トと前月実績の36,744トに比べ22.2%減少した。

2月は日本、韓国、インド向けが増加したものの、オランダ向けが前月比72.3%の大幅な減少となったことで、総輸出量は減退した。主要仕向け地別の内訳は別表の通り。(T・斉藤)

別表 ロシアのフェロシリコン輸出(Si>55%) 2015年2月 (単位:MT)

国名	2014年	2014年						2015年		2015年
	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10月	11月	12月	1月	2月	1-2月
Algeria	1,050	-	-	750	-	-	300	500	-	500
Argentina	1,807	162	866	270	27	320	162	-	-	-
Australia	2,289	622	330	48	168	286	835	668	310	978
Brazil	6,619	-	3,653	1,866	-	25	1,075	50	875	925
Colombia	696	150	25	175	25	75	246	125	200	325
Finland	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
India	19,873	6,342	4,826	4,058	972	756	2,919	1,415	2,085	3,500
Italy	1,868	-	824	824	55	-	165	220	330	550
Japan	102,890	33,286	24,422	22,365	2,975	9,898	9,945	2,706	7,210	9,917
Kazakhstan	8,055	1,030	2,508	1,991	750	885	890	-	140	140
R.Korea	68,526	21,337	18,803	15,831	1,134	6,993	4,428	5,994	6,912	12,906
Mexico	13,263	4,108	3,400	2,772	1,005	966	1,012	658	313	971
Netherlands	116,835	26,252	39,338	25,731	5,738	8,675	11,101	17,962	4,973	22,935
Slovakia	728	112	280	-	-	196	140	-	-	-
S.Africa	5,076	1,836	1,620	1,080	-	540	-	1,080	540	1,620
Spain	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Sweden	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Taiwan	2,214	-	-	1,512	702	-	-	-	-	-
Turkey	37,829	10,206	7,352	9,838	3,598	6,332	504	1,671	2,511	4,182
Ukraine	5,863	411	1,424	1,713	813	626	877	537	-	537
U.A.E.	7,675	3,700	1,675	1,425	375	-	500	600	520	1,120
U.K.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
U.S.A.	216	135	81	-	-	-	-	-	-	-
Uzbekistan	68	68	-	-	-	-	-	-	-	-
Others	22,722	5,934	2,868	8,206	2,620	619	2,475	2,558	1,665	4,223
<b>Total</b>	<b>426,162</b>	<b>115,690</b>	<b>114,294</b>	<b>100,456</b>	<b>20,956</b>	<b>37,192</b>	<b>37,573</b>	<b>36,744</b>	<b>28,584</b>	<b>65,329</b>

<Web閲覧システムには5月15日16時45分に掲載>

## NML、1-3月の業績・計画進捗状況

カナダのニュー・ミレニアム・アイアン(NML)社は5日、第1四半期(1-3月)業績とカナダの鉄鉱石プロジェクトの進捗状況を明らかにした。

3月末の運転資金は2757.8万ドルで12月31日末の2887.1万ドルに比べ129.3万ドル(4.5%)減少した。3ヵ月の純損失は115.6万ドルで、内訳は一般管理費133.1万ドル、投資収益17.5万ドル。3月31日現在の鉱物探鉱・見積もり資産は6064.7万ドル。12月末現在の6024.0万ドルから40.7万ドル増加した。

同社はカナダ北東部で鉄鉱石プロジェクトを推進しているが、このうちインドの鉄鋼大手、タタ・スチール社が権益を保有する2件のプロジェクトのうち、同社とのJV会社が権益20%を保有するDSO(ダイレクト・ SHIPPING・オア)プロジェクトは1-3月中、加工処理施設の建設が進められた。また、タコナイト・プロジェクトは投資家などの説明に備えるため次段階のFSを今後、進める計画だ。

<Web閲覧システムには5月15日17時33分に掲載>

### 3月の冷延広幅帯鋼輸出推移

(数量=MT、単価=FOBドル)

	計		中国		米国		台湾		韓国	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
2009年	2,809,141	723.1	972,058	686.8	38,474	970.3	60,624	854.4	66,062	854.4
2010年	4,014,178	813.7	1,405,894	802.8	54,745	962.0	78,481	928.5	176,145	810.2
2011年	3,713,493	895.2	1,226,735	850.8	29,725	1,031.6	65,326	1,039.0	217,582	916.1
2012年	3,185,997	826.0	1,047,469	773.9	41,329	951.7	39,068	982.8	121,522	884.4
2013年	3,166,861	749.2	961,691	717.9	21,666	940.9	60,597	872.0	77,598	806.3
2014年	2,779,434	736.8	713,779	717.4	21,474	1,016.1	41,806	964.9	69,332	879.2
2014年3月	260,467	749.1	70,651	724.6	1,051	1,104.3	4,337	914.5	2,672	967.5
4月	231,320	745.7	70,536	730.0	3,083	962.2	3,654	880.1	5,190	817.6
5月	243,501	749.5	62,988	736.2	879	1,087.2	4,207	1,010.4	3,869	899.7
6月	230,263	747.8	59,885	725.2	1,341	1,047.8	3,516	895.1	2,983	915.9
7月	212,241	744.5	52,127	737.4	1,254	1,033.1	3,334	979.9	6,173	872.4
8月	230,486	749.8	57,937	716.6	3,502	970.1	2,817	1,002.3	5,489	886.4
9月	238,332	723.0	59,238	698.7	751	1,096.9	3,045	942.5	12,760	795.6
10月	248,751	713.1	62,520	701.7	1,018	1,032.7	3,735	995.3	7,405	867.1
11月	224,004	708.3	42,187	705.1	3,209	894.3	2,512	1,073.5	8,108	811.7
12月	227,872	714.7	57,448	691.7	3,090	879.1	3,302	994.1	8,470	832.5
2015年1月	219,897	695.4	42,778	679.3	2,763	872.7	1,612	903.9	5,044	867.1
2月	187,226	690.5	41,547	662.5	1,829	870.4	3,017	945.1	5,157	835.3
3月	244,326	677.6	57,472	656.3	7,620	807.3	3,452	931.4	3,368	1,090.5

<Web閲覧システムには4月28日15時51分に掲載>

### 3月の厚板輸出推移

(数量=MT、単価=FOBドル)

	計		中国		米国		台湾		韓国	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
2009年	3,548,133	885.8	775,698	915.9	6,771	1,356.3	60,664	900.9	1,899,311	913.5
2010年	3,798,869	754.4	882,538	756.6	220	1,142.9	75,804	625.6	1,880,453	751.7
2011年	3,671,508	911.6	959,320	923.8	4,141	1,136.3	56,572	671.0	1,748,412	901.3
2012年	3,608,202	775.0	714,518	832.3	30,655	738.6	101,097	625.8	1,581,724	779.4
2013年	3,263,352	660.8	715,990	690.8	20,677	835.0	134,712	562.4	979,267	698.9
2014年	2,800,242	673.5	824,379	660.3	62,003	782.1	83,697	577.5	946,117	703.0
2014年3月	245,872	690.3	64,325	688.2	1,464	789.5	8,267	583.5	98,079	705.9
4月	214,390	671.7	74,442	661.3	1,260	950.4	6,776	564.9	75,323	699.7
5月	219,820	687.4	69,593	667.5	610	1,017.0	6,883	686.3	75,938	721.4
6月	202,064	677.0	68,094	664.3	7,387	679.0	6,469	607.5	68,223	702.7
7月	213,702	679.1	64,338	673.5	4,249	736.0	5,883	588.4	75,809	712.0
8月	202,485	672.2	57,953	666.6	9,882	714.3	5,861	599.1	71,069	716.4
9月	276,171	676.3	77,503	661.7	12,677	688.9	7,439	571.0	86,571	701.2
10月	239,962	678.3	75,627	654.6	5,735	868.1	4,571	595.7	79,242	714.7
11月	226,097	670.5	66,521	648.1	8,710	752.0	1,294	450.6	63,936	705.0
12月	301,467	643.1	79,727	618.2	9,349	753.7	7,583	563.8	77,938	660.2
2015年1月	290,741	651.3	73,180	620.2	7,683	695.8	8,833	588.1	63,556	674.8
2月	226,826	635.2	56,209	617.4	4,537	711.1	4,117	520.6	67,116	673.0
3月	276,127	626.1	68,278	596.5	1,965	749.8	7,773	516.0	68,220	657.7

<Web閲覧システムには4月28日15時52分に掲載>



## 豪州の鉄鉱石輸出速報

=ワイアラ、ポートラッタのペレット輸出港

豪州統計局(ABS)が調べた2015年3月までのワイアラ(南豪州)、ポートラッタ(タスマニア州)の鉄鉱石輸出推移は次の通り。ワイアラはアリウム・マイニング、ポートラッタはグランジェ・リソーシズ社が鉄鉱石の輸出に使用、いずれもペレットが出荷されている。ペレット輸出港にはほかにタウンズビル(QLD州)があり、1-11月間に30.3万トンの累計輸出実績がある。平均単価は81.24Aドルで12月以降、輸出は途絶えた。

	ワイアラ						ポートラッタ							
	中国		日本		合計		中国		日本		その他		合計	
	1000トン	単価(A\$)	1000トン	単価(A\$)	1000トン	単価(A\$)	1000トン	単価(A\$)	1000トン	単価(A\$)	1000トン	単価(A\$)	1000トン	単価(A\$)
<b>塊鉱・ROM</b>														
2014年														
1月	429	128.5	-	-	429	128.5	-	-	-	-	-	-	-	-
2月	176	128.0	93	133.1	269	129.8	-	-	-	-	-	-	-	-
3月	357	119.6	-	-	357	119.6	-	-	-	-	-	-	-	-
4月	359	101.0	23	97.5	382	100.8	-	-	-	-	-	-	-	-
5月	464	95.3	-	-	464	95.3	-	-	-	-	-	-	-	-
6月	251	83.3	-	-	251	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-
7月	449	68.8	-	-	438	75.1	-	-	-	-	-	-	-	-
8月	334	76.5	-	-	323	76.7	-	-	-	-	-	-	-	-
9月	306	70.7	-	-	429	80.9	-	-	-	-	-	-	-	-
10月	457	60.8	-	-	365	82.4	-	-	-	-	-	-	-	-
11月	306	70.4	-	-	305	70.2	-	-	-	-	-	-	-	-
12月	287	70.5	-	-	305	70.2	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	4,175	88.5	116	126.1	4,291	89.5	-	-	-	-	-	-	-	-
2015年														
1月	304	72.2	-	-	304	72.2	-	-	-	-	-	-	-	-
2月	164	65.8	-	-	164	65.8	-	-	-	-	-	-	-	-
3月	491	48.4	-	-	491	48.4	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>粉鉱</b>														
2014年														
1月	612	129.8	-	-	612	129.8	-	-	-	-	-	-	-	-
2月	685	113.6	82	110.7	767	113.3	-	-	-	-	-	-	-	-
3月	738	102.4	-	-	738	102.4	-	-	-	-	-	-	-	-
4月	754	86.7	18	93.7	772	86.9	-	-	-	-	-	-	-	-
5月	625	92.5	-	-	625	92.5	-	-	-	-	-	-	-	-
6月	663	77.2	-	-	663	77.2	-	-	-	-	-	-	-	-
7月	1,008	63.6	-	-	988	70.6	-	-	-	-	-	-	-	-
8月	766	68.3	-	-	750	70.8	-	-	-	-	-	-	-	-
9月	775	63.3	-	-	625	66.6	-	-	-	-	-	-	-	-
10月	865	63.2	-	-	865	63.2	-	-	-	-	-	-	-	-
11月	740	60.7	-	-	740	60.7	-	-	-	-	-	-	-	-
12月	845	53.3	-	-	845	53.3	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	8,415	77.4	101	107.6	8,516	77.8	-	-	-	-	-	-	-	-
2015年														
1月	764	42.0	-	-	764	42.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2月	524	47.2	-	-	524	47.2	-	-	-	-	-	-	-	-
3月	949	24.6	-	-	949	24.6	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>ペレット</b>														
2014年														
1月	-	-	-	-	-	-	153	168.8	-	-	-	-	153	168.8
2月	-	-	-	-	-	-	152	165.1	-	-	-	-	153	165.1
3月	20	115.4	-	-	20	115.4	-	-	-	-	-	-	-	
4月	-	-	-	-	-	-	158	135.9	80	149.5	-	-	238	140.5
5月	-	-	-	-	-	-	159	135.1	-	-	-	-	159	135.1
6月	-	-	-	-	-	-	159	114.4	80	113.8	-	-	239	114.2
7月	-	-	-	-	-	-	79	110.5	80	115.54	80	118.78	239	114.9
8月	-	-	-	-	-	-	159	111.1	80	116.5	28	118.4	267	113.5
9月	-	-	-	-	-	-	239	110.0	-	-	45	124.5	284	112.3
10月	-	-	-	-	-	-	158	113.5	-	-	-	-	158	113.5
11月	-	-	-	-	-	-	153	110.4	-	-	-	-	153	110.4
12月	26	63.5	-	-	-	-	233	108.6	-	-	45	122.2	-	-
合計	46	86.3	-	-	20	115.4	1,801	124.8	320	123.8	198	120.8	2,319	124.3
2015年														
1月	-	-	-	-	-	-	153	104.1	-	-	-	-	153	104.1
2月	-	-	-	-	-	-	73	114.2	-	-	80	111.3	-	-
3月	-	-	-	-	-	-	233	106.2	-	-	-	-	233	106.2

注:単価はトン当たりの豪州ドル(輸入額÷輸入量)。1-9月は確報、\*:ペレット 出所:ABS

<Web閲覧システムには5月15日11時11分に掲載>

## 韓国、4月の石炭輸入は1215万トんに増加

韓国の貿易統計によれば、同国の2015年4月における石炭(ブリケット等を除く)輸入量は1215万トンで、前年同月より86万4千トン(7.7%)増加した。うち豪州からの輸入量は525万5千トンに達し、全体の43%を占めている。詳細は別表の通り。

Coal Total	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Australia	5,255,439	465,895	88.65	4,286,823	466,117	108.73
Indonesia	3,221,821	181,608	56.37	3,490,820	236,309	67.69
Russia	1,947,854	153,439	78.77	1,745,527	168,594	96.59
Canada	1,057,427	103,566	97.94	1,221,844	147,424	120.66
U.S.A.	376,031	38,493	102.37	131,476	19,069	145.04
South Africa	166,999	11,552	69.17	80,121	7,356	91.81
China	70,825	7,008	98.95	148,676	18,166	122.19
Vietnam	51,236	5,520	107.74	89,845	9,963	110.89
Colombia	2,291	536	233.93	0	0	-
Mozambique	0	0	-	90,575	12,307	135.88
Thailand	0	0	-	20	5	248.20
Japan	0	0	-	0	1	4,201.68
<b>Total</b>	<b>12,149,923</b>	<b>967,617</b>	<b>79.64</b>	<b>11,285,727</b>	<b>1,085,311</b>	<b>96.17</b>
Apr 2014	11,285,727	1,085,311	96.17			
2015-2014	864,196	-117,694	-16.53			
15/14 (%)	7.7	-10.8	-17.2			

Coal Total	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
<b>Anthracite</b>	<b>595,101</b>	<b>59,907</b>	<b>100.67</b>	<b>776,328</b>	<b>93,203</b>	<b>120.06</b>
Hard Coking Coal	1,079,860	120,804	111.87	1,071,805	152,179	141.98
Other Coking Coal	1,858,990	197,731	106.36	792,177	106,830	134.86
*Other Metallurgical Coal	579,573	62,371	107.62	800,436	105,127	131.34
<b>Sub-Total</b>	<b>3,518,423</b>	<b>380,906</b>	<b>108.26</b>	<b>2,664,417</b>	<b>364,136</b>	<b>136.67</b>
Thermal Coal	7,635,931	502,674	65.83	7,773,632	622,598	80.09
Other Coal	400,468	24,130	60.25	71,350	5,374	75.32
<b>Sub-Total</b>	<b>8,036,399</b>	<b>526,804</b>	<b>65.55</b>	<b>7,844,983</b>	<b>627,972</b>	<b>80.05</b>
<b>Total</b>	<b>12,149,923</b>	<b>967,617</b>	<b>79.64</b>	<b>11,285,727</b>	<b>1,085,311</b>	<b>96.17</b>

\*=containing a V.M. less than 22%

<Web 閲覧システムには5月15日10時02分に掲載>

## 韓国、4月のソース別無煙炭輸入実績

韓国の貿易統計によれば、同国の2015年4月におけるソース別の無煙炭輸入実績は別表の通りである。

Anthracite	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Australia	303,570	32,757	107.91	346,256	44,256	127.81
China	17,740	1,458	82.19	91,961	10,811	117.56
Indonesia	0	0	-	25,530	1,800	70.51
Russia	222,555	20,172	90.64	222,716	26,368	118.39
Thailand	0	0	-	20	5	248.20
Vietnam	51,236	5,520	107.74	89,845	9,963	110.89
<b>Total</b>	<b>595,101</b>	<b>59,907</b>	<b>100.67</b>	<b>776,328</b>	<b>93,203</b>	<b>120.06</b>
Apr 2014	776,328	93,203	120.06			
2015-2014	-181,226	-33,296	-19.39			
15/14 (%)	-23.3	-35.7	-16.2			

<Web 閲覧システムには5月15日10時07分に掲載>

韓国、4月のソース別原料炭輸入実績

韓国の貿易統計によれば、同国の2015年4月におけるソース別の原料炭輸入実績は別表の通りである。

Hard Coking Coal	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Australia	889,696	100,860	113.36	333,360	48,445	145.32
Canada	23,681	2,564	108.27	436,866	64,367	147.34
China	21,200	2,713	127.97	23,947	3,576	149.33
Colombia	2,291	536	233.93	0	0	-
Mozambique	0	0	-	49,405	6,713	135.88
Russia	99,000	8,887	89.77	153,860	19,210	124.85
U.S.A.	43,992	5,244	119.20	74,367	9,868	132.69
<b>Total</b>	<b>1,079,860</b>	<b>120,804</b>	<b>111.87</b>	<b>1,071,805</b>	<b>152,179</b>	<b>141.98</b>
Apr 2014	1,071,805	152,179	141.98			
2015-2014	8,056	-31,375	-30.11			
15/14 (%)	0.8	-20.6	-21.2			

Other Coking Coal	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Australia	845,731	84,739	100.20	382,669	49,017	128.09
Canada	659,387	76,239	115.62	201,559	30,049	149.08
China	0	0	-	29	15	518.31
Mozambique	0	0	-	41,170	5,594	135.88
Russia	185,513	16,995	91.61	109,640	12,954	118.15
U.S.A.	168,358	19,758	117.36	57,109	9,201	161.11
<b>Total</b>	<b>1,858,990</b>	<b>197,731</b>	<b>106.36</b>	<b>792,177</b>	<b>106,830</b>	<b>134.86</b>
Apr 2014	792,177	106,830	134.86			
2015-2014	1,066,813	90,901	-28.49			
15/14 (%)	134.7	85.1	-21.1			

Other Metallurgical Coal (V.M. less than 22%)	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Australia	388,321	42,559	109.60	629,887	83,670	132.83
Canada	59,983	6,951	115.88	76,494	10,014	130.91
Russia	101,589	9,467	93.19	94,054	11,443	121.66
U.S.A.	29,680	3,394	114.35	0	0	-
<b>Total</b>	<b>579,573</b>	<b>62,371</b>	<b>107.62</b>	<b>800,436</b>	<b>105,127</b>	<b>131.34</b>
Apr 2014	800,436	105,127	131.34			
2015-2014	-220,863	-42,756	-23.72			
15/14 (%)	-27.6	-40.7	-18.1			

Metallurgical Coal Total	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Australia	2,123,749	228,158	107.43	1,345,917	181,132	134.58
Canada	743,051	85,754	115.41	714,919	104,430	146.07
Russia	386,102	35,349	91.55	357,554	43,607	121.96
U.S.A.	242,030	28,396	117.32	131,476	19,069	145.04
China	21,200	2,713	127.97	23,976	3,591	149.78
Colombia	2,291	536	233.93	0	0	-
Mozambique	0	0	-	90,575	12,307	135.88
<b>Total</b>	<b>3,518,423</b>	<b>380,906</b>	<b>108.26</b>	<b>2,664,417</b>	<b>364,136</b>	<b>136.67</b>
Apr 2014	2,664,417	364,136	136.67			
2015-2014	854,006	16,770	-28.41			
15/14 (%)	32.1	4.6	-20.8			

<Web 閲覧システムには5月15日10時10分に掲載>

### 韓国、4月のソース別一般炭輸入実績

韓国の貿易統計によれば、同国の2015年4月におけるソース別の一般炭輸入実績は別表の通りである。

Thermal Coal (Bituminous Coal)	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Australia	2,703,671	197,178	72.93	2,594,650	240,729	92.78
Canada	314,376	17,812	56.66	506,925	42,994	84.81
China	31,885	2,837	88.98	32,739	3,764	114.97
Indonesia	2,945,803	165,281	56.11	3,393,940	229,135	67.51
Japan	0	0	-	0	1	4,201.68
Russia	1,339,197	97,918	73.12	1,165,257	98,619	84.63
South Africa	166,999	11,552	69.17	80,121	7,356	91.81
U.S.A.	134,000	10,096	75.34	0	0	-
<b>Total</b>	<b>7,635,931</b>	<b>502,674</b>	<b>65.83</b>	<b>7,773,632</b>	<b>622,598</b>	<b>80.09</b>
Apr 2014	7,773,632	622,598	80.09			
2015-2014	-137,701	-119,924	-14.26			
15/14 (%)	-1.8	-19.3	-17.8			

Thermal Coal (Other Coal)	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Australia	124,449	7,802	62.69	0	0	-
Indonesia	276,018	16,327	59.15	71,350	5,374	75.32
U.S.A.	1	1	1,250.00	0	0	-
<b>Total</b>	<b>400,468</b>	<b>24,130</b>	<b>60.25</b>	<b>71,350</b>	<b>5,374</b>	<b>75.32</b>
Apr 2014	71,350	5,374	75.32			
2015-2014	329,118	18,756	-15.06			
15/14 (%)	461.3	349.0	-20.0			

Thermal Coal Total	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Indonesia	3,221,821	181,608	56.37	3,465,290	234,509	67.67
Australia	2,828,120	204,980	72.48	2,594,650	240,729	92.78
Russia	1,339,197	97,918	73.12	1,165,257	98,619	84.63
Canada	314,376	17,812	56.66	506,925	42,994	84.81
South Africa	166,999	11,552	69.17	80,121	7,356	91.81
U.S.A.	134,001	10,097	75.35	0	0	-
China	31,885	2,837	88.98	32,739	3,764	114.97
Japan	0	0	-	0	1	4,201.68
<b>Total</b>	<b>8,036,399</b>	<b>526,804</b>	<b>65.55</b>	<b>7,844,983</b>	<b>627,972</b>	<b>80.05</b>
Apr 2014	7,844,983	627,972	80.05			
2015-2014	191,416	-101,168	-14.50			
15/14 (%)	2.4	-16.1	-18.1			

<Web閲覧システムには5月15日10時14分に掲載>

### 韓国、4月の石炭コークス輸入実績

韓国の貿易統計によれば、同国の2015年4月におけるソース別の石炭コークス輸入実績は別表の通りである。

Coal Coke Imports	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
China	29,091	5,882	202.20	28,957	7,486	280.23
Colombia	0	0	-	497	104	208.19
Russia	0	0	-	2,963	684	199.78
<b>Total</b>	<b>29,091</b>	<b>5,882</b>	<b>202.19</b>	<b>32,417</b>	<b>8,274</b>	<b>263.53</b>
Apr 2014	32,417	8,274	255.24			
2015-2014	-3,326	-2,392	-53.04			
15/14 (%)	-10.3	-28.9	-20.8			

<Web閲覧システムには5月15日10時23分に掲載>

## 韓国、4月の生石油コークス輸出入実績

韓国の貿易統計によれば、同国の2015年4月における生石油コークス輸出入実績は別表の通りである。

Green Pet.Coke Imports	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	CIF Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
China	5,445	1,170	214.88	6,229	1,894	304.05
Japan	99	168	1,703.85	28	55	1,957.30
U.S.A.	95,410	8,541	89.52	48,701	5,229	107.37
<b>Total</b>	<b>100,954</b>	<b>9,879</b>	<b>97.86</b>	<b>54,959</b>	<b>7,178</b>	<b>130.61</b>
Apr 2014	54,959	7,178	130.61			
2015-2014	45,995	2,701	-32.75			
15/14 (%)	83.7	37.6	-25.1			

Green Pet.Coke Exports	Apr 2015			Apr 2014		
	Quantity (MT)	FOB Value (US\$1000)	Average Price (US\$)	Quantity (MT)	FOB Value (US\$1000)	Average Price (US\$)
Japan	3,229	246	76.20	0	0	-
<b>Total</b>	<b>3,229</b>	<b>246</b>	<b>76.20</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
Apr 2014	0	0	-			
2015-2014	3,229	246	-			
15/14 (%)	-	-	-			

<Web 閲覧システムには5月15日10時19分に掲載>

## 台湾、1～3月の石炭コークス輸入実績

台湾の貿易統計・確報によれば、同地域の2015年1～3月におけるソース別の石炭コークス輸入実績は別表の通りである。

石炭コークス輸入	2015年1～3月		
	輸入数量 (MT)	輸入CIF 金額 (US\$1000)	平均単価 (US\$/MT)
China	50,751	11,416	224.94
Japan	7,459	2,212	296.55
<b>Total</b>	<b>58,210</b>	<b>13,628</b>	<b>234.12</b>
2014年1～3月計	31,662	8,745	276.20
2015-2014	26,548	4,883	-42.08
15/14 (%)	83.8	55.8	-15.2

<Web 閲覧システムには5月15日10時31分に掲載>

## 台湾、1～3月の生石油コークス輸出実績

台湾の貿易統計・確報によれば、同地域の2015年1～3月における生石油コークス輸出量は12万6千トンに達し、前年同期の実績を2万1千トン(20.0%)上回った。輸出先は全量、中国である。詳細は別表の通り。

生石油コークス輸出	2015年1～3月		
	輸出数量 (MT)	輸出FOB 金額 (US\$1000)	平均単価 (US\$/MT)
China	126,000	9,977	79.18
<b>Total</b>	<b>126,000</b>	<b>9,977</b>	<b>79.18</b>
2014年1～3月計	105,000	12,215	116.33
2015-2014	21,000	-2,238	-37.15
15/14 (%)	20.0	-18.3	-31.9

<Web 閲覧システムには5月15日10時29分に掲載>

## 台湾、1～3月の石炭輸入は1715万トン

台湾の貿易統計・確報によれば、同地域の2015年1～3月における石炭(ブリケット等を除く)輸入量は1714万9千トンで、前年同期より47万4千トン(2.8%)増えた。うち豪州から893万4千トン、インドネシアから640万2千トンが輸入されている。詳細は別表の通り。

炭種	ソース	2015年1～3月		
		数量 (MT)	輸入CIF金額 (US\$1000)	平均単価 (US\$/MT)
無煙炭	China	1,744	465	266.63
	N.Korea	99,212	9,458	95.33
	Vietnam	6,318	1,266	200.38
	<b>Sub Total</b>	<b>107,274</b>	<b>11,189</b>	<b>104.30</b>
瀝青炭	China	106,811	13,269	124.23
	Canada	387,537	46,023	118.76
	Indonesia	6,090,216	402,640	66.11
	Russia	964,614	77,522	80.37
	South Africa	246,467	18,706	75.90
	U.S.A.	120	74	616.67
	Mozambique	0	9	-
	Australia	8,933,655	802,038	89.78
	<b>Sub Total</b>	<b>16,729,420</b>	<b>1,360,281</b>	<b>81.31</b>
その他石炭	Indonesia	312,104	19,848	63.59
	U.S.A.	0	3	-
	Thailand	120	66	550.00
	<b>Sub Total</b>	<b>312,224</b>	<b>19,917</b>	<b>63.79</b>
石炭合計	Australia	8,933,655	802,038	89.78
	Indonesia	6,402,320	422,488	65.99
	Russia	964,614	77,522	80.37
	Canada	387,537	46,023	118.76
	South Africa	246,467	18,706	75.90
	China	108,555	13,734	126.52
	N.Korea	99,212	9,458	95.33
	Vietnam	6,318	1,266	200.38
	Thailand	120	66	550.00
	U.S.A.	120	77	641.67
	Mozambique	0	9	-
	<b>Total</b>	<b>17,148,918</b>	<b>1,391,387</b>	<b>81.14</b>
	2014年1～3月計		16,675,352	1,596,672
2015-2014		473,566	-205,285	-14.61
15/14 (%)		2.8	-12.9	-15.3

<Web 閲覧システムには5月14日17時15分に掲載>

## 南ア一般炭、65.25～65.50ドルで成約される

グローバル・コール社の南ア一般炭マーケット(実物RB)では14日に2015年6月受け渡しのスポット契約が2件成立した。成約価格は65.25～65.50米ドル/mt FOBで、数量は各5万トンとなっている。

南ア市場では13日に2015年7月受け渡しのスポット契約が2件成立している。成約価格は62.75～63.00ドルで、数量は各2万5千トンであった。

14日の取引における詳細は別表のとおり。

Phys RB1			
Deal Date	Quantity (MT)	Delivery Date	Contracted Price (US\$/MT)
14-May	50,000	Jun'15	65.50
14-May	50,000	Jun'15	65.25

<Web 閲覧システムには5月15日10時06分に掲載>